

事後評価書（完了後の評価）

都道府県名	三重県	関係市町村	松阪市
-------	-----	-------	-----

事業名	海岸保全施設整備事業（高潮対策事業）		
漁港海岸名 （地区名）	リョウシ ギョウコウ カイガン 狹師漁港海岸（狹師）	事業主体	松阪市

I 基本事項

1. 地区概要				
	名称	狹師漁港海岸		
	防護人口	3114人	防護面積	103.13ha
	地区の特徴	当海岸は、三重県のほぼ中央に位置する松阪市にあり、松ヶ島城の城下町として形成された松ヶ崎に隣接している。 さらに三渡川や阪内川に挟まれ、古くから水利が良いことから、紀州藩の船蔵等が立地した狹師漁港を中心に形成された漁村集落地域である。		
2. 事業概要				
	事業目的	当海岸は昭和28年の台風13号や昭和34年の伊勢湾台風によって被った災害の復旧事業として海岸護岸整備が実施されたが、現在までに約50年が経過しており、既往調査結果では液状化現象発生の危険性が認められていたため、本事業により防災機能を高め、背後地住民の安全と快適な生活環境を確保する。		
	工種	堤防築堤工L=528.4m・堤防被覆工L=528.7m・複断面式堤防工L=200m 狹師樋門改修工L=10.5m・大正新田樋門改修工L=10.5m		
	事業費	1,013,000千円	事業期間	平成13年度～平成25年度

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化				
本事業では、平成24年度に期中の評価を実施し、経済効果の妥当性について評価を行った。その際の分析の算定基礎となった家屋数、事業所については、平成24年から大きく変化はないものの、現在価値化の計算、工事に伴う入札差金により費用便益比率は平成24年の5.40と比較し7.04と増加している。				
2. 事業効果の発現状況				
事業実施以前は、堤防等の老朽化や液状化現象の危険性といった問題があったが、本事業による堤防築堤や狹師樋門、大正新田樋門の改修により、堤防強度や排水機能の改善等が図られた。また、現時点での費用対効果分析の結果は1.0を上回っており、一定の効果発現が見られる。				
3. 事業により整備された施設の管理状況				
海岸管理者により、施設の変状について定期的に点検を実施している。				
4. 事業実施による環境の変化				
堤防等の整備に伴い、防護地域の塩害等の事象は発生していない。また堤防道路が広がったことにより緊急車両等の安全な通行が可能となった。				
5. 社会経済情勢の変化				
計画当初と比較して、背後地の人口が減少するなどの変化が見られる。				
6. 今後の課題				
事業効果を長期的に発現させていくため、早急に施設の長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を行っていくことが重要となる。また、漁業従事者が減少傾向にあるため、魅力ある漁業環境を形成し、後継者・新規就業者を確保していくことが求められる。				
7. 事業の投資効果が十分見込まれたか				
平成24年評価時の 費用便益比B/C	5.40	現時点の B/C	7.04	※別紙「費用対効果分析 集計表」のとおり

Ⅲ 総合評価

本事業は、老朽化した堤防等の施設の安全性低下を解消するため、堤防築堤工等を行うことにより、高潮、波浪による越波を防止し背後地及び地域住民の生命・財産の被害防止を図る事を目的としたものである。松阪市都市計画マスタープラン(H31.3月)のまちづくりの基本方針としても「港湾部においては、高潮などによる災害対策等に取り組むため、堤防構造の強化を促進する」と位置付けられている。当事業は当初計画期間より1年早く終了し、最も経済的な断面を検討してコスト縮減を図った。現時点の効果について貨幣化可能な部分について、費用対効果分析を行ったところ7.0であり、効果についても確認されている。貨幣化が困難な効果についても地域住民によるウォーキング、サイクリング等に活用され、地域のレクリエーション推進につながる効果が認められることから、事業の一定効果の発現が認められる。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

都道府県名	三重県	漁港海岸名 (地区名)	獵師漁港海岸
事業名	海岸保全施設整備事業 (高潮対策事業)	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

便益の評価項目及び便益額	評価項目		便益額（現在価値化）	
	浸水防護便益		11,127,000	千円
	侵食防止便益			千円
	海岸環境保全便益・海岸利用便益			千円
	その他（			千円
	計（総便益額）	B	11,127,000	千円
総費用額（現在価値化）			C	1,580,000 千円
費用便益比			B / C	7.04

3 事業効果のうち貨幣化が困難な効果

・歩行の快適性向上効果（地域住民によるウォーキング・サイクリング等の利用） ・レクリエーション等の利用維持・向上効果（旧波返工のベンチとしての利用による憩いの場の形成） ・緊急車両の通行が容易になった
--

海岸保全施設整備事業 狹師漁港海岸地区 事業概要図【整理番号26】



事業主体: 松阪市

主要工事計画: 堤防築堤工 L=528.4m

堤防被覆工 L=528.7m

複断面式堤防工 L=200m

狹師樋門改修工 L=10.5m

大正新田樋門改修工 L=10.5m

事業費: 1,013百万円

事業期間: 平成13年度～平成25年度

獺師漁港海岸の事業の効用に関する説明資料

1. 獺師漁港海岸の概要

(1) 地域 三重県松阪市獺師町、新松ヶ島町

(2) 受益面積 103ha

(3) 事業目的

当海岸は昭和 28 年の台風 13 号や昭和 34 年の伊勢湾台風によって被った災害の復旧事業として海岸護岸整備が実施されたが、現在までに約 50 年が経過しており、既往調査結果では液状化現象発生危険性が認められている。本事業により防災機能を高め、背後地住民の安全と快適な生活環境を確保する。

(4) 主要工事計画

堤防築堤工 L=528.4m、堤防被覆工 L=528.7m、復断面式堤防工 L=200m、
獺師樋門改修工 L=10.5m、大正新田樋門改修工 L=10.5m

(5) 事業費 1,013 百万円

(6) 工期 平成 13 年度～平成 25 年度

2. 総費用総便益比の算定

(1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	①	1,580,000	(2) 総費用の総括参照
評価（事業期間+50 年）		63 年間	
総便益額（現在価値化）	②	11,127,000	(3) 総便益額の総括参照
費用対効果分析結果	③=②÷①	7.04	

(2) 総費用の総括

(単位：千円)

施設名（又は工種）	当該事業費 ①	維持管理費 ②	総費用 ③=①+②
堤防改良工	1,443,000	137,000	1,580,000
計	1,443,000	137,000	1,580,000

(3) 総便益額の総括

(単位：千円)

効果項目	総便益額	効果の要因
浸水防護便益	11,127,000	高潮、波浪等による浸水から背後地の資産等を守ることにによる便益。
計	11,127,000	

(4)総便益算出表

●費用対効果分析結果

都道府県名	24	三重
海岸名	狹師漁港海岸	
地区名	狹師地区	
海岸管理者	松阪市	
評価種別	4	事後評価

総事業費(税込)	10.64	(億円)
維持管理費(事業費の0.5%)	0.05	(億円/年)
高潮防護便益	4.09	(億円/年)
侵食便益	0.00	(億円/年)
その他便益	0.00	(億円/年)

社会的割引率	4.0%
基準年	2019 H31
整備開始年	2001 H13
整備終了年	2013 H25
供用終了年	2063 H75

[分析結果]	
CBR	7.04
NPV	95.47 億円
EIRR	15.8%

番号	単位:億円		単年度の費用・便益				2019年価値換算値		社会的割引率		デフレーター		費用整理		便益整理			
	西暦	和暦	費用 (消費税抜き)			便 益	費用 (C)	便益 (B)	乗数	割引率	割引率	2017年基準	2019年基準	事業費	維持管理	高潮	侵食	その他
			事業費	維持管理	計													
	合計		10.13	2.53	12.67	204.68	15.80	111.27				100.0						
1	2001	H13	0.77	0.00	0.77	0.00	1.31	0.00	-18	2.026	119.2	119.2	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	H13
2	2002	H14	1.14	0.00	1.14	0.00	1.85	0.00	-17	1.948	120.6	120.6	1.14	0.00	0.00	0.00	0.00	H14
3	2003	H15	0.71	0.00	0.71	0.00	1.12	0.00	-16	1.873	119.7	119.7	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	H15
4	2004	H16	0.77	0.00	0.77	0.00	1.17	0.00	-15	1.801	118.9	118.9	0.77	0.00	0.00	0.00	0.00	H16
5	2005	H17	0.71	0.00	0.71	0.00	1.05	0.00	-14	1.732	117.6	117.6	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00	H17
6	2006	H18	1.11	0.00	1.11	0.00	1.60	0.00	-13	1.665	116.3	116.3	1.11	0.00	0.00	0.00	0.00	H18
7	2007	H19	0.80	0.00	0.80	0.00	1.12	0.00	-12	1.601	113.9	113.9	0.80	0.00	0.00	0.00	0.00	H19
8	2008	H20	0.57	0.00	0.57	0.00	0.80	0.00	-11	1.539	110.4	110.4	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00	H20
9	2009	H21	0.97	0.00	0.97	0.00	1.28	0.00	-10	1.480	112.6	112.6	0.97	0.00	0.00	0.00	0.00	H21
10	2010	H22	1.00	0.00	1.00	0.00	1.27	0.00	-9	1.423	112.2	112.2	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	H22
11	2011	H23	0.63	0.00	0.63	0.00	0.78	0.00	-8	1.369	110.7	110.7	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	H23
12	2012	H24	0.31	0.00	0.31	0.00	0.37	0.00	-7	1.316	111.3	111.3	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	H24
13	2013	H25	0.62	0.00	0.62	0.00	0.72	0.00	-6	1.265	108.3	108.3	0.62	0.00	0.00	0.00	0.00	H25
14	2014	H26	0.00	0.05	0.05	4.09	0.06	4.98	-5	1.217	103.9	103.9	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H26
15	2015	H27	0.00	0.05	0.05	4.09	0.06	4.79	-4	1.170	103.4	103.4	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H27
16	2016	H28	0.00	0.05	0.05	4.09	0.06	4.60	-3	1.125	102.5	102.5	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H28
17	2017	H29	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	4.43	-2	1.082	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H29
18	2018	H30	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	4.26	-1	1.040	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H30
19	2019	H31	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	4.09	0	1.000	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H31
20	2020	H32	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	3.94	1	0.962	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H32
21	2021	H33	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	3.78	2	0.925	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H33
22	2022	H34	0.00	0.05	0.05	4.09	0.05	3.64	3	0.889	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H34
23	2023	H35	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	3.50	4	0.855	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H35
24	2024	H36	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	3.36	5	0.822	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H36
25	2025	H37	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	3.24	6	0.790	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H37
26	2026	H38	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	3.11	7	0.760	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H38
27	2027	H39	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	2.99	8	0.731	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H39
28	2028	H40	0.00	0.05	0.05	4.09	0.04	2.88	9	0.703	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H40
29	2029	H41	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.77	10	0.676	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H41
30	2030	H42	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.66	11	0.650	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H42
31	2031	H43	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.56	12	0.625	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H43
32	2032	H44	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.46	13	0.601	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H44
33	2033	H45	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.36	14	0.577	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H45
34	2034	H46	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.27	15	0.555	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H46
35	2035	H47	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.19	16	0.534	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H47
36	2036	H48	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.10	17	0.513	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H48
37	2037	H49	0.00	0.05	0.05	4.09	0.03	2.02	18	0.494	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H49
38	2038	H50	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.94	19	0.475	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H50
39	2039	H51	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.87	20	0.456	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H51
40	2040	H52	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.80	21	0.439	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H52
41	2041	H53	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.73	22	0.422	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H53
42	2042	H54	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.66	23	0.406	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H54
43	2043	H55	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.60	24	0.390	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H55
44	2044	H56	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.54	25	0.375	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H56
45	2045	H57	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.48	26	0.361	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H57
46	2046	H58	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.42	27	0.347	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H58
47	2047	H59	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.37	28	0.333	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H59
48	2048	H60	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.31	29	0.321	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H60
49	2049	H61	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.26	30	0.308	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H61
50	2050	H62	0.00	0.05	0.05	4.09	0.02	1.21	31	0.296	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H62
51	2051	H63	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	1.17	32	0.285	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H63
52	2052	H64	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	1.12	33	0.274	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H64
53	2053	H65	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	1.08	34	0.264	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H65
54	2054	H66	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	1.04	35	0.253	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H66
55	2055	H67	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	1.00	36	0.244	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H67
56	2056	H68	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.96	37	0.234	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H68
57	2057	H69	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.92	38	0.225	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H69
58	2058	H70	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.89	39	0.217	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H70
59	2059	H71	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.85	40	0.208	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H71
60	2060	H72	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.82	41	0.200	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H72
61	2061	H73	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.79	42	0.193	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H73
62	2062	H74	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.76	43	0.185	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H74
63	2063	H75	0.00	0.05	0.05	4.09	0.01	0.73	44	0.178	100.0	100.0	0.00	0.05	4.09	0.00	0.00	H75

3. 便益額の算定方法

(1) 浸水防護便益

○効果の考え方

浸水が予想される地域内の一般財産(家屋・家庭日用品・事務所資産〈償却資産・在庫資産〉・農漁家資産〈償却資産・在庫資産〉・農作物)、公共土木施設、公益事業等の資産を評価し、被害率を勘案して被害軽減額を代替法により算定する。

○対象施設

一般資産、農作物、公共土木施設、公益事業

○年効果額算定式

算出された確率年(1/50～1/10)毎の一般被害額をもとに年平均想定被害額を算出し、高潮の年平超過確率を乗じて年平均被害額を算出し、事業実施した場合(with)と事業を実施しなかった場合(without)の差を年効果額とする。

○年効果額算定

表 1－1 浸水による資産被害額 (without 時)

確 率 年	家屋被害額 (千円)	家庭用品被害額 (千円)	農漁家資産被害額 (千円)		事業所資産被害額 (千円)		農作物被害額 (千円)	合計	
			(償却資 産)	(在庫資 産)	(償却 資産)	(在庫 資産)			
1/10	93,540	82,050	510	300	25,540	8,800	67,110	277,850	
1/20	163,140	171,880	740	510	50,270	20,960	109,050	516,550	
1/30	222,770	229,020	1,060	710	67,470	27,010	125,830	673,870	
1/40	256,000	256,760	1,120	760	75,150	32,420	138,420	760,630	
1/50	417,710	432,530	1,710	1,240	120,200	57,200	142,610	1,173,200	
確率年毎対象流量 Q1 (m3)		確率年	Qn～Qn+10 の 年平均超過確率		想定被害額	Qn～Qn+10 の平均 想定被害額(千円)		超過確率× 平均被害額	
0		1			0	138,920		125,030	
172,940		1/10	0.90000		277,850	397,200		19,860	
275,290		1/20	0.05000		516,550	595,200		9,920	
377,781		1/30	0.01667		673,870	673,870		5,620	
474,117		1/40	0.00833		760,630	673,870		3,370	
555,091		1/50	0.00500		1,173,200				
計 年平均被害額（一般資産被害額）								163,800	
公共土木被害額（一般資産×1.8）								294,830	
公益事業等被害額（一般資産×0.03）								4,910	
合計 浸水被害額								463,540	

※一般資産被害額算定：海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）平成16年6月P18

※公共土木・公益事業等被害額：海岸事業の費用便益分析指針（改訂版）平成16年6月P53

表 1－2 浸水による資産被害額 (with 時)

確 率 年	家屋被害額 (千円)	家庭用品被害額 (千円)	農漁家資産被害額 (千円)		事業所資産被害額 (千円)		農作物被害額 (千円)	合計	
			(償却資 産)	(在庫資 産)	(償却 資産)	(在庫 資産)			
1/10	5,040	1,390			1,520	460	25,160	33,570	
1/20	5,040	1,390			1,520	460	29,360	37,770	
1/30	22,000	13,840	90	50	5,690	1,830	46,140	89,640	
1/40	22,000	13,840	90	50	5,690	1,830	46,140	89,640	
1/50	32,080	16,610	90	50	8,720	2,760	54,530	114,840	
確率年毎対象流量 Q1 (m3)		確率年	Qn～Qn+10 の 年平均超過確率		想定被害額	Qn～Qn+10 の平均 想定被害額(千円)		超過確率× 平均被害額	
0		1			0	16,790		15,110	
23,088		1/10	0.90000		33,570	35,670		1,780	
35,614		1/20	0.05000		37,770	63,700		1,060	
49,893		1/30	0.01667		89,640	89,640		750	
63,610		1/40	0.00833		89,640	89,640		450	
72,075		1/50	0.00500		114,840				
計 年平均被害額 (一般資産被害額)								19,150	
公共土木被害額 (一般資産×1.8)								34,470	
公益事業等被害額 (一般資産×0.03)								570	
合計 浸水被害額								54,190	

表 1－3 浸水防護便益の算定

(単位：千円)

項目	Without 時	With 時	被害軽減額
一般資産被害額	163,800	19,150	144,650
公共土木被害額 (一般資産の 1.8)	294,840	34,470	260,370
公益事業等被害額 (一般資産の 0.03)	4,910	570	4,340
合計 (浸水防護便益)	463,550	54,190	409,350

※便益算定額はそれぞれの数値を四捨五入するため計上額は=408 百万円とする。

○一般被害額算定手法

家屋の資産被害額

＝家屋平均床面積×浸水区域内家屋数×浸水区域内家屋数×家屋 1 m²当りの単価×被害率

※家屋平均床面積＝市内家屋床面積×市内家屋数

※家屋 1 m²当りの単価「治水経済調査マニュアル (案)」の値

家庭用品の資産被害額

＝世帯数×1 世帯当たりの家庭用品評価額×被害率

※世帯数＝市内世帯数÷市内家屋数×浸水地域内家屋数

※1 世帯当たり家庭用品評価額「治水経済調査マニュアル (案)」の値

事業所償却資産被害額

＝事業所平均資産額×事業所数×被害率

※事業所数＝市内事業所数×浸水地域内家屋÷市内家屋数

※事業所平均資産額＝市内事業所全体の償却資産評価額÷市内事業所数

※市内事業所全体の償却資産評価額

＝Σ (産業大分類別従業員数 1 人当たり償却資産単価×市内産業別従業員数)

※産業大分類別従業員数 1 人当たり償却資産単価「治水経済調査マニュアル (案)」の値

事業所在庫資産被害額

＝事業所平均在庫額×事業所数×被害率

※事業所平均在庫額＝市内事業所全体の在庫資産評価額÷市内事業所数

※市内事業所全体の在庫資産評価額

＝ Σ （産業大分類別従業員数1人当たり在庫資産単価×市内産業別従業員数）

※産業大分類別従業員数1人当たり在庫資産単価「治水経済調査マニュアル（案）」の値
農作物の資産被害額

＝農作物単価×農作物面積当たり収穫量×耕作面積（田、畑別）×被害率

※農作物単価「治水経済調査マニュアル（案）」の値

※農作物面積当たり収穫量「治水経済調査マニュアル（案）」の値

農漁家償却資産被害額

＝農漁家1戸当たり償却資産単価×農漁家数×被害率

※農漁家1戸当たりの償却資産単価「治水経済調査マニュアル（案）」の値

農漁家在庫資産被害額

＝農漁家1戸当たり在庫資産単価×農漁家数×被害率

※農漁家1戸当たりの在庫資産単価「治水経済調査マニュアル（案）」の値